

包装リースだより 44

株式会社日本包装リースは、日本包装機械工業会の会員が出資して設立した包装機械・関連機械の専門リース会社です

お問合せ先：営業企画室 電話03-6222-2261 <http://www.jpml.jp/>

TOKYO PACK 2014への出展

去る10月7日から10日まで東京ビッグサイトで開催された2014東京国際包装展(TOKYO PACK 2014)に出展しました。今回は生産性向上設備投資促進税制のリース利用について、パネルを作成してチラシを配布したほか、包装機械と



関連機器の販売促進を目的にメーカー・代理店様と共同で作成したカタログ(33社54機種)も展示・配布しました。また、包装関連産業等の研究開発部門や製造現場等で利用される富士フィルム製圧力測定フィルム「プレスケール」、熱量分布測定フィルム「サーモスケール」及び紫外線光量分布測定フィルム「UVスケール」の販売促進のため、富士インパルス様から電動シーラーをお借りして実演説明を行いました。同展示会は、公益社団法人日本包装技術協会主催で、本年は来場登録者数が累計で6万2千

人(前回比95%)に上り盛況裡に終了しました。弊社ブースにご来場いただいた多くのお客様、メーカー様各位にあらためて厚くお礼申し上げます。

再生可能エネルギーの固定価格買取制度に暗雲

2012年7月にスタートした、太陽光、風力、水力、地熱、バイオマス等の再生可能なエネルギーを用いて発電された電気を国が定めた一定の価格・期間で電気事業者が買取することを義務づけた「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」が岐路を迎えています。

北海道・東北・四国・九州・沖縄の各電力会社が9月下旬に受け入れ能力を上回るとして事業者からの新規受け入れを一時制限(保留)すると発表したことで、太陽光発電事業者については、既に土地やパネルを購入しながら、電力会社との契約が未締結だったために保留となっ

たり、大規模な建設計画が中断を余儀なくされるなど深刻な影響が出始めているようです。

この買取制度は、一般家庭を含む電気料金に上乗せする形で運用されており、現在は標準的な家庭で年2700円を徴収されています。経産省の試算では、既に認定され未稼働の太陽光発電が全て運転されると一家庭の負担は年一万円を超えるようです。

経産省は年内を目途に見直しの方向性をまとめるようですが、その行方が注目されます。